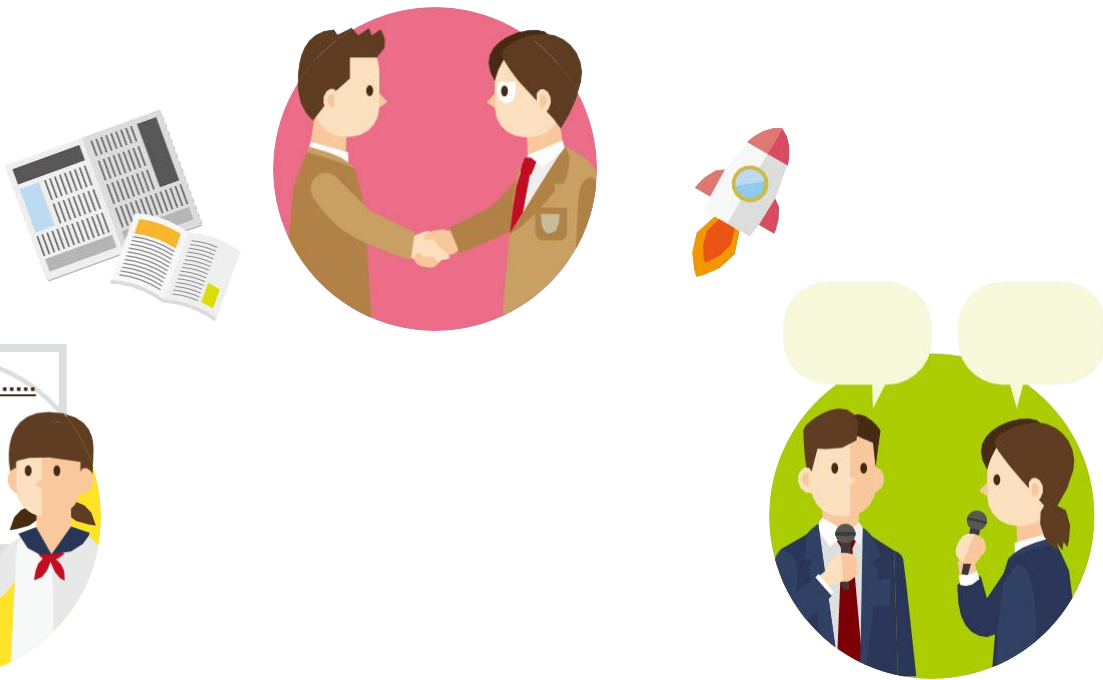




経済産業省
中小企業庁



起業家教育事業



中小企業庁が行う若年層向け起業家教育事業は、創業に関心のない若年層に対して「起業家マインドの醸成」「創業に対するイメージの確立」を図ることで、未来の創業者を創出することを目的としています。

起業家マインドは起業家や経営者のみに必要なものではありません。むしろ、人口減少社会や人生100年時代、第4次産業革命といった激動の世の中を生きる現代人にとって、必要不可欠な素養であると言えます。

そこで、これまで経営資源(コスト／マンパワー／企画力等)の不足により取り組むことが困難であった教育機関に対し、若年層向け起業家教育を実施する機会を提供していくことで、自立的・能動的な人材を輩出するとともに、全国的な創業機運の醸成を図り、将来的な開業率の向上につなげていきたいと考えております。



学生に向けた起業家教育事業の目的・ねらい

- 1.アントレプレナーシップを知る
2. 将来のキャリア設計をイメージする
3. 自ら課題を見つけ解決する力を育む



起業家教育事業を通じて、

- 一番大切なことはやりたいことをやることだと学ぶ。
- 時代はますます変わるが、重要なのは自分の頭で考え、行動に移すこと。
- 自分が正しいと思える道に進むこと。
- 自分にしかできない仕事を見つける、新しい仕事をつくる、起業はその手段の1つであること。

上記を、学生に気づいて頂くきっかけを与えたいと考えております。

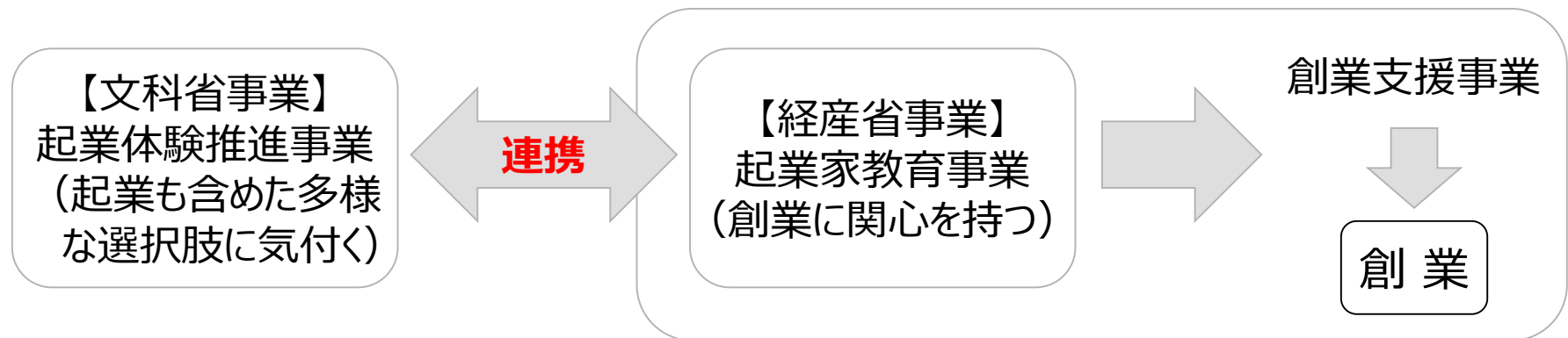
【アントレプレナーシップ】

チャレンジ精神、創造性、探究心等の「起業家精神」や、

情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力等の「起業家的資質・能力」

(参考) 起業家教育について

- 文部科学省の事業は**キャリア教育の一環**として、小中学校等の早い段階から、チャレンジ精神、創造性、探究心等の「起業家精神」や、情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力等の「起業家的資質・能力」を育成するため、**体験的な学習を実施**している。
- 経済産業省の事業は、具体的な職業を意識し始める高校生等を対象として、**先輩創業者との接点**を作るとともに、模擬ビジネスプラン作成、専門家からのフィードバック等、より**実践的な教育**を行うことを通じて、起業が将来の職業の選択肢となることを目指す。



起業家教育事業における講演等の内容例（授業1コマ程度）

1. 自己紹介

講師の経歴、学生時代のこと、夢・目標等

2. 事業の内容

扱っている商品・サービス、会社等の特徴、業界の特性等

3. 創業したきっかけ

現在の事業に携わったきっかけ、独立・起業に至った経緯、問題意識等

4. 実際に事業を行って感じたこと、経験したこと

事業を経営してよかったこと、ピンチをどのように乗り越えたか、やりたいことができているか

5. 事業を経営する上で必要なこと

人脈、お金、知識、起業家精神、恋愛・・・等

6. 人生の先輩から、若者へ向けたエール！



※あくまで参考であり、この内容に限定したものではありません。